屋久島縄文杉　トレーニングハイク〔最終回〕

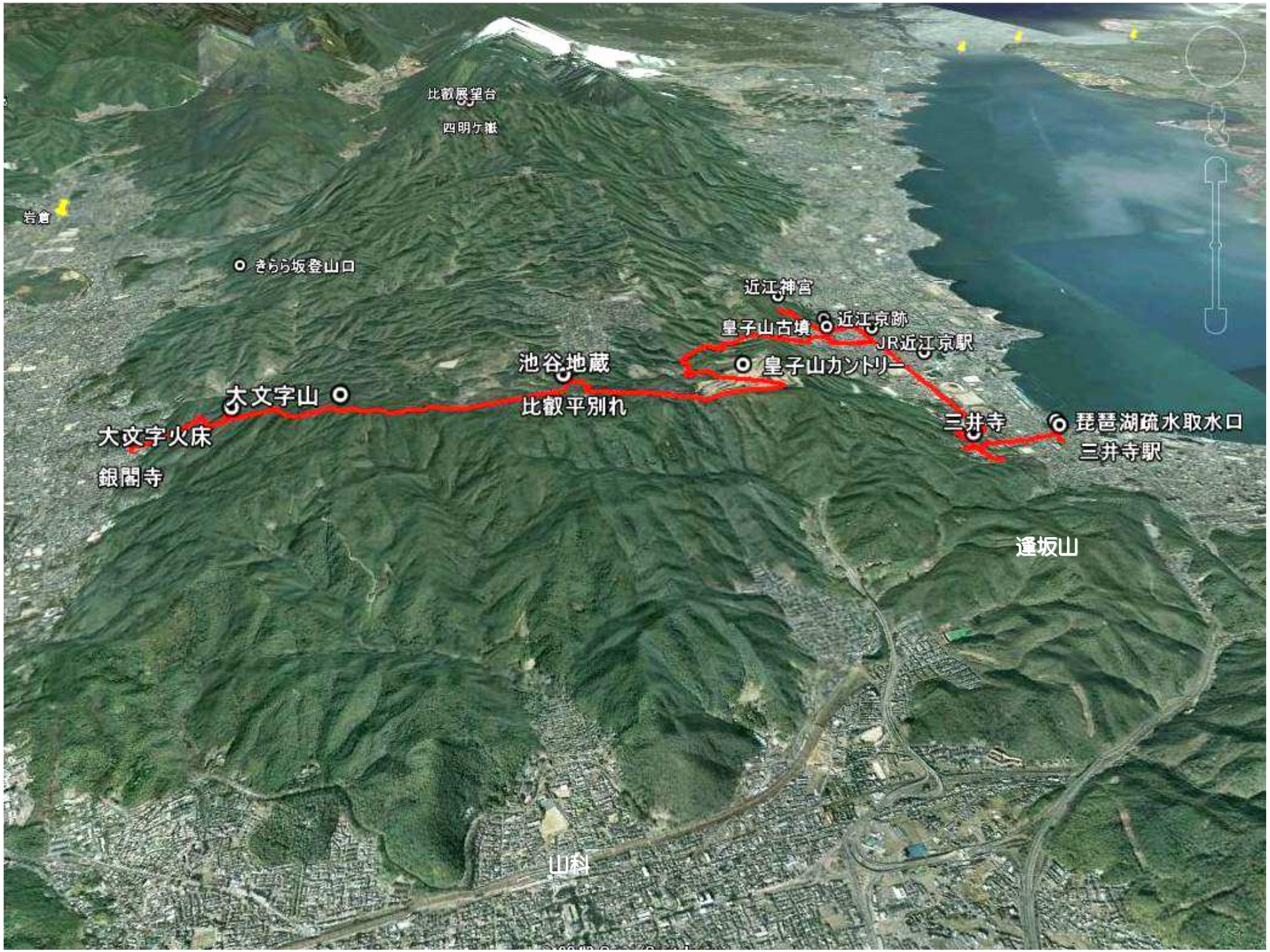
下鴨→銀閣寺から大文字山越→大津三井寺へ

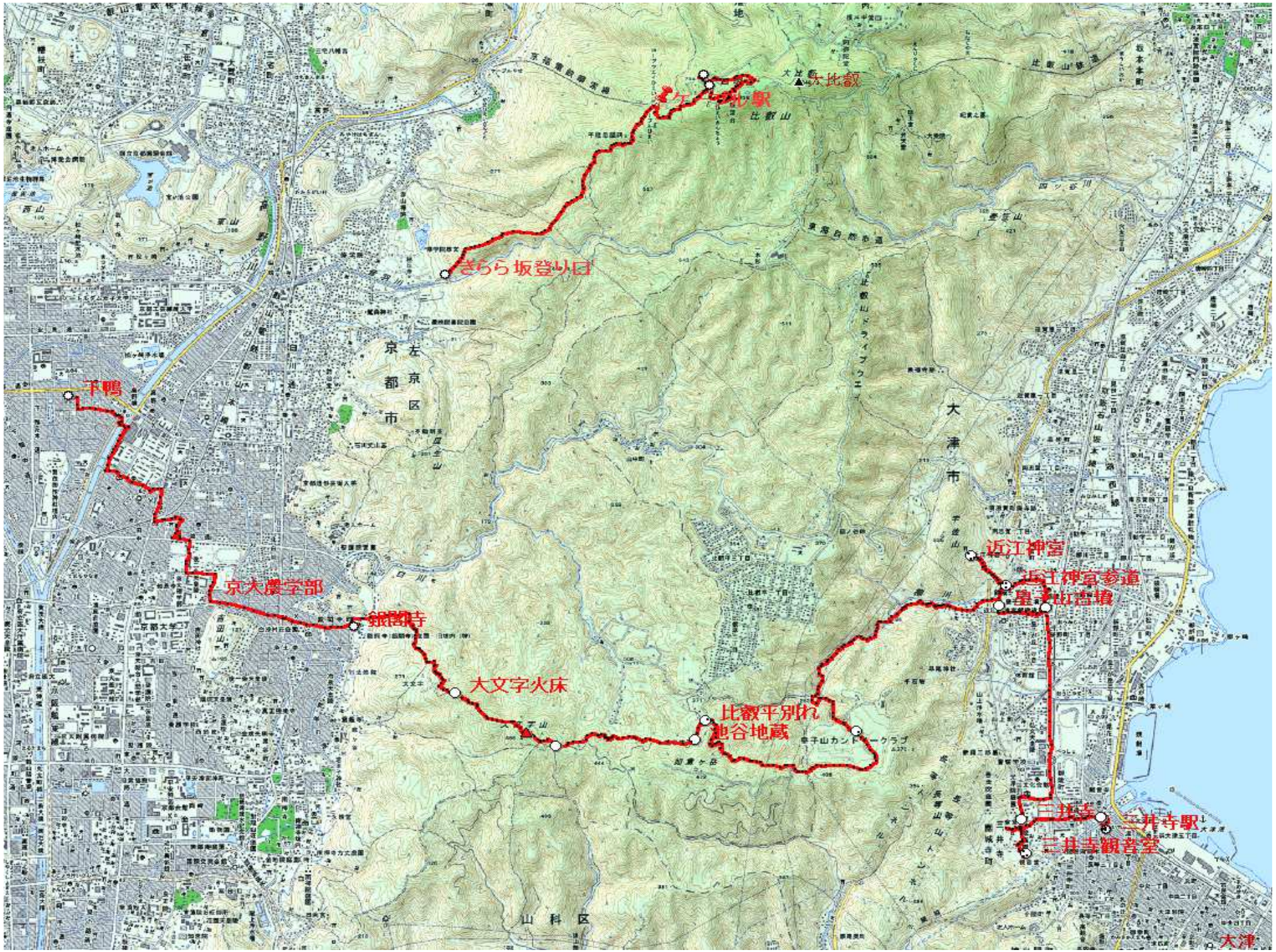
長時間の下りロード　2013.4.26.

4.13.-4.16.まで　屋久島合宿に参加し、縄文杉まで行ってきました。 その最終回に予定していた「屋久島行トレーニングハイク　大文字山越のハイク」を家内が体調を崩したため、パスして屋久島へ出かけました。
屋久島から帰って、「気になるので、やっぱり大文字越して　トレーニングハイクの終了にしよう」と晴天の4.26.朝　下鴨から大津へ大文字山越のハイクに出かけました。
大津への大文字山越は学生時代以来で、見る風景も新鮮。 新緑の中に咲くミツバツツジに日本しゃくなげなど思わぬ春景色にも出会え、ラッキーでした。
また、日頃見慣れた三角の秀麗な比叡山がどっしりと構えた台形の姿だったのにもびつくり。 おもわぬ比叡の姿にも出会えました。

大文字山越でみえる比叡山　左:四明岳　右:大比叡　2013.4.26.

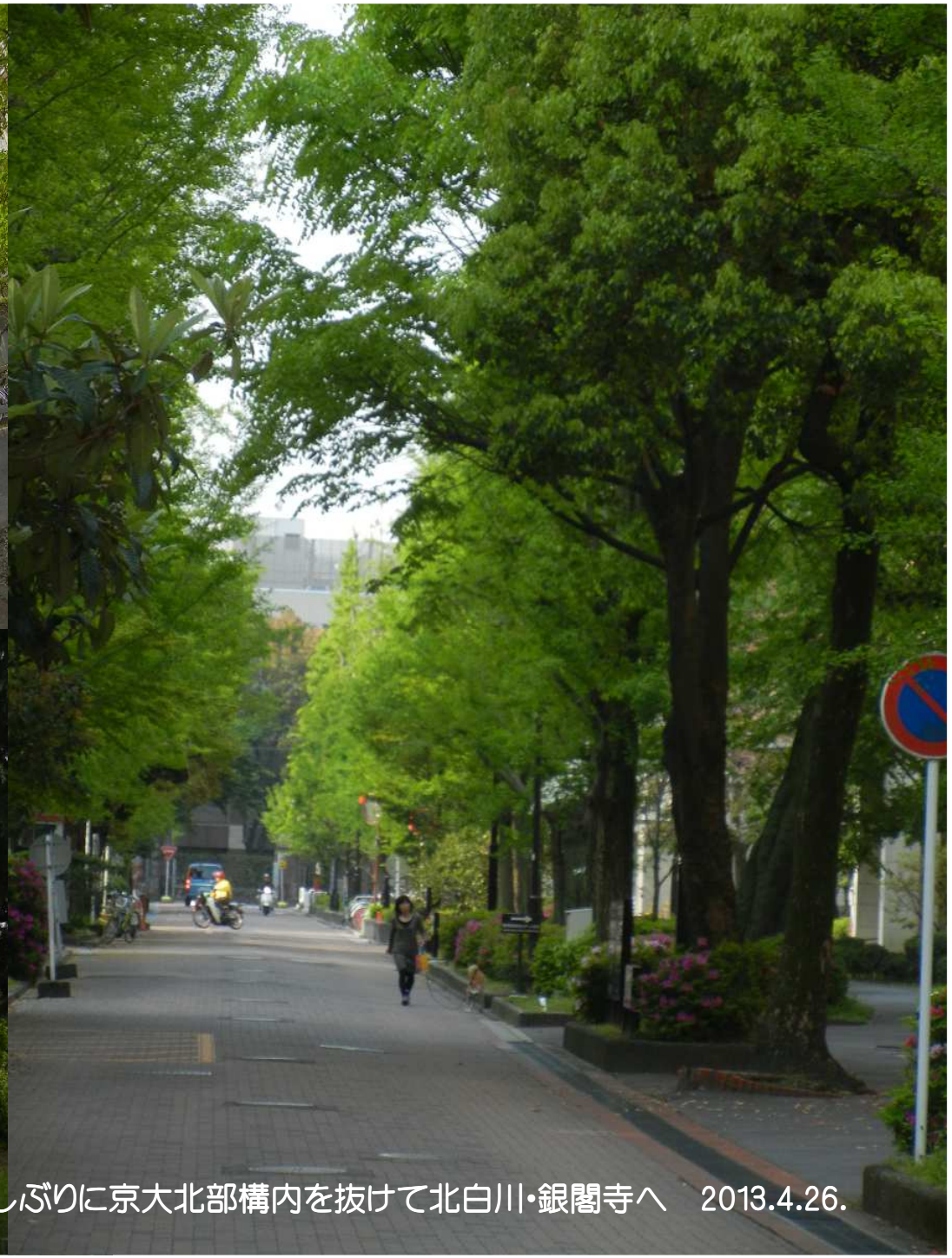
正面　丘の上の住宅地が比叡平


比叡展望台
四明ケ嶽
岩倉
きらら坂登山口
近江神宮
皇子山古墳
近江京跡
JR近江京駅
皇子山カントリー
池谷地蔵
大文字山
比叡平別れ
大文字火床
銀閣寺
三井寺
琵琶湖疏水取水口
三井寺駅
逢坂山
山科


ケーブル駅
大比叡
比叡山
きらら坂登り口
下鴨
京大農学部
銀閣寺
大文字火床
比叡平別れ
池谷地蔵
近江神宮
近江神宮参道
皇子山登場
三井寺
三井寺駅
三井寺観音堂
大津
京都市
左京区
大津市
山科区

屋久島縄文杉　トレーニングハイク〔最終回〕

さつきが咲き始めた高野川土手　2013.4.26.



久しぶりに京大北部構内を抜けて北白川・銀閣寺へ　2013.4.26.

北白川街道の入り口　久しぶりに眺めるお地蔵さんと大文字山　2013.4.26.

北白川街道の入口のお地蔵さん　変わらぬお姿で　2013.4.26.

銀閣寺
大文字山登口
哲学の道
白沙村荘

にしんそば 休
和食 一
本家ハ
桜の花
京みやげ
湯どうふ
松茸
港屋

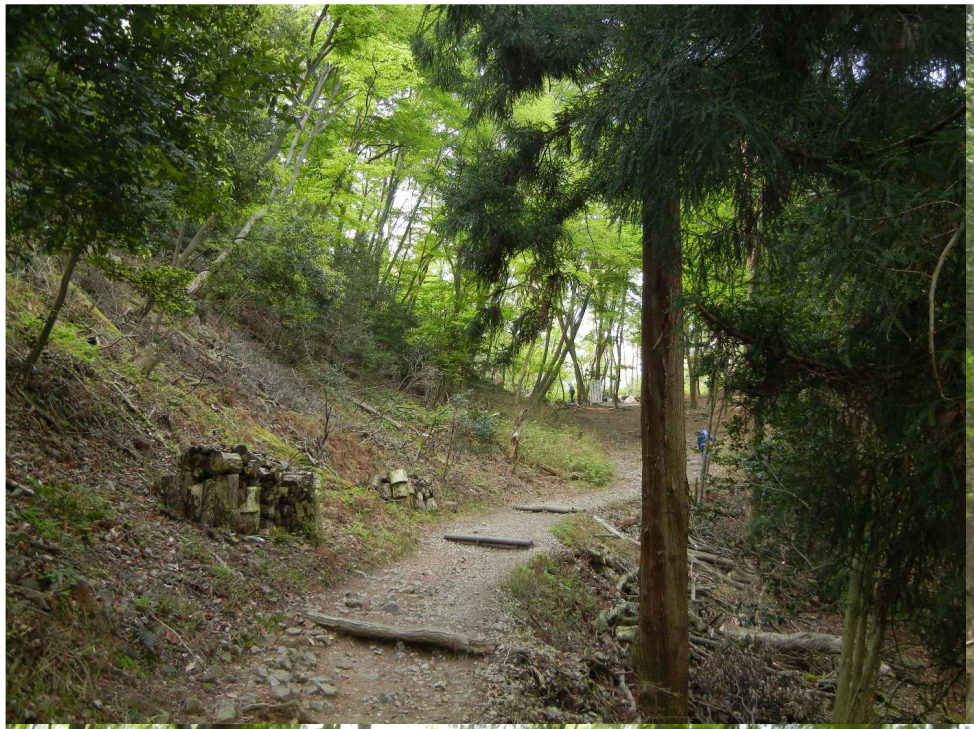
銀閣寺前から吉田山を振り返る　2013.4.26.

銀閣寺境内図
Ginkakuji Precinct Map

大文字山の登り口　2013.4.26.

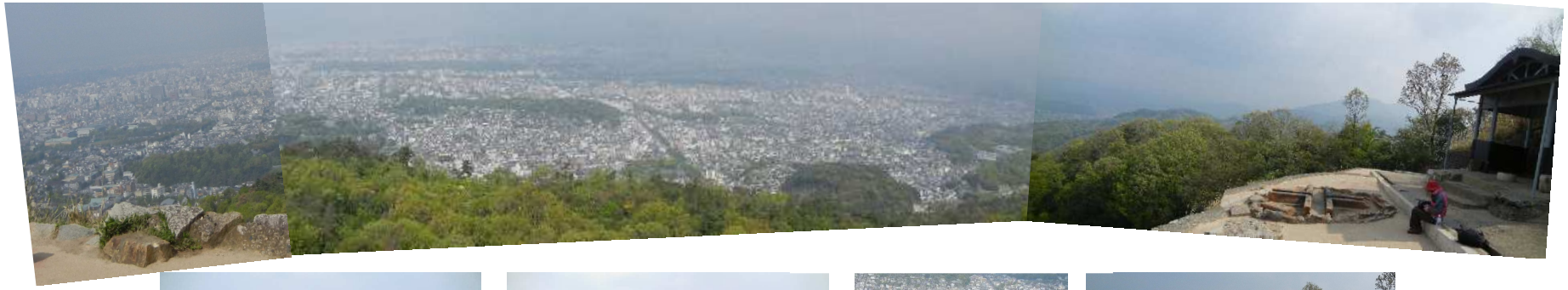
バイクの乗り入れを禁止します。
大文字保存会
世界文化遺産貢献の森林
～銀閣寺山国有林～

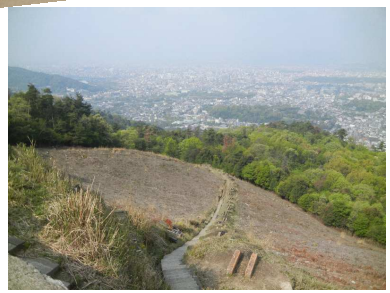
八大守山
ごみはすてずに
持ち帰りましょう
大文字山

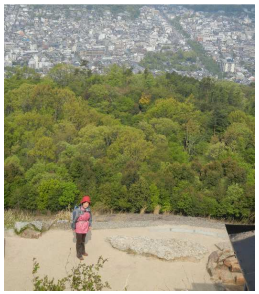


石段が出てくるとすぐ上が大文字の火床　　2013.4.26.

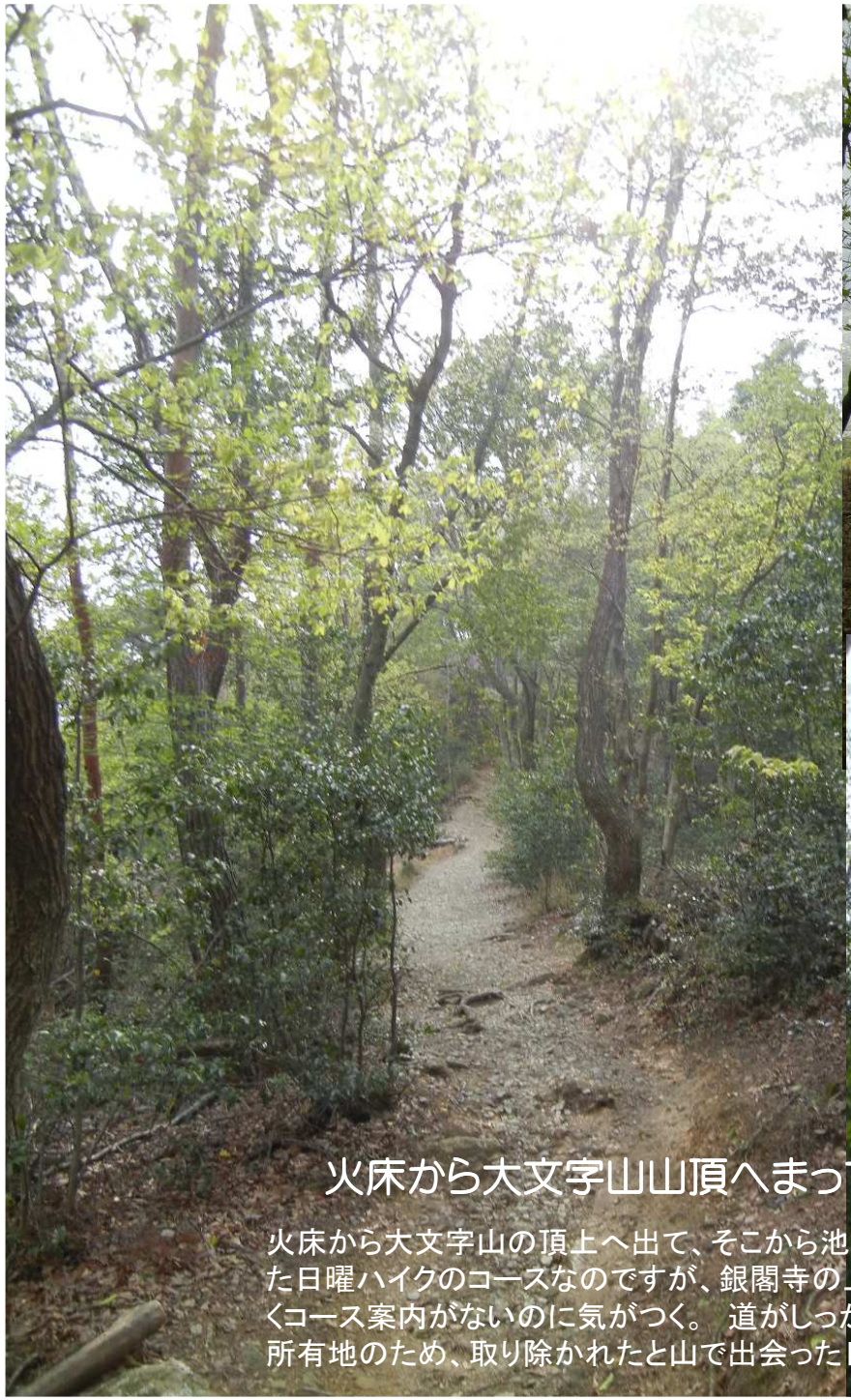
大文字山　火床からの京都の街　展望　　2013.4.26.

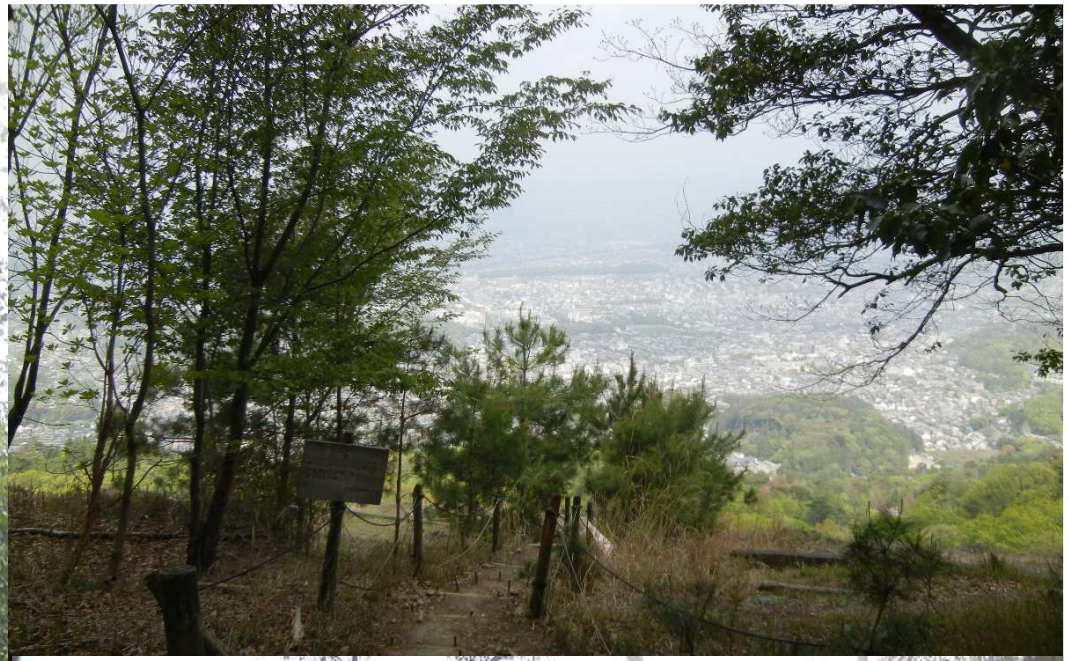






大文字山　火床からの京都の街　展望　　2013.4.26.





火床から大文字山山頂へまっすぐ登ってゆく尾根道　2013.4.26.

火床から大文字山の頂上へ出て、そこから池谷地蔵へ下ってゆくコース　ポピュラーなコースで京都市民に親しまれた日曜ハイクのコースなのですが、銀閣寺の上り口からも含め、以前あった案内板などがすべて取り除かれ、まったくコース案内がないのに気がつく。 道がしっかりしているので、迷うことはないが、この大文字山地域はすべて個人所有地のため、取り除かれたと山で出会った日曜登山の人に教えてもらった。 でも　道はよく整備されている。

ミツバツツジがちょうど満開
林の中が華やいで大文字山の登山道で見える

466m 大文字山頂上　2013.4.26.

以前は雑木林の真っ只中で、まったく展望が利かない頂上でしたが、南側の雑木林が取り払われ、正面に花山天文台そして蹴上から山科が眺められる。 こんなになってるんだとびっくりでした。

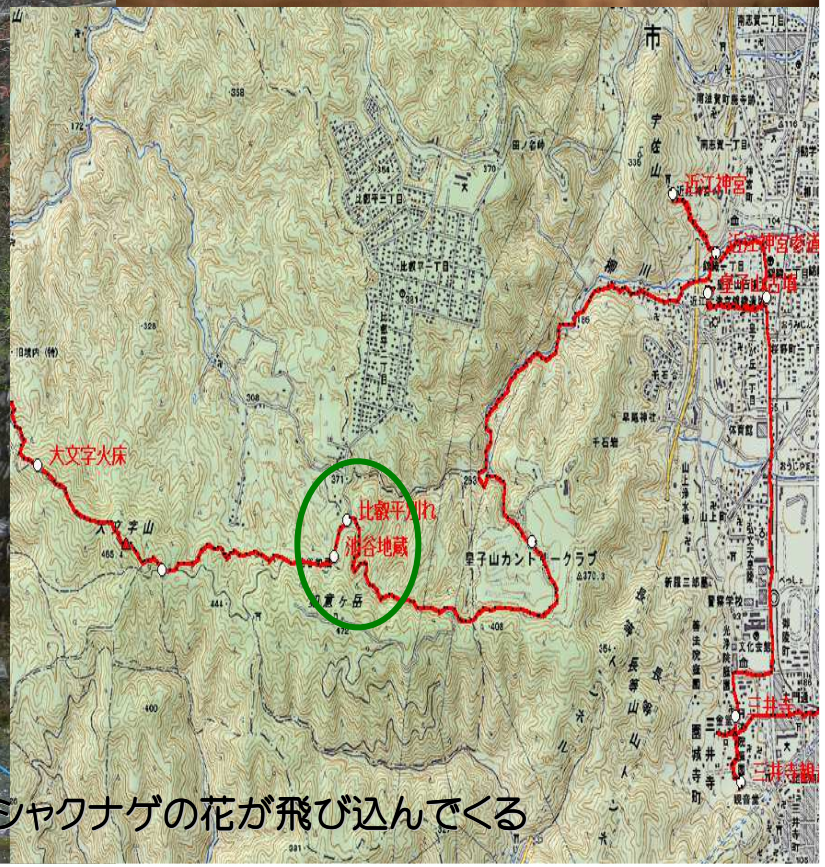
大文字山を下って、如意ヶ岳の北斜面に出るとよく手入れされた杉林が広がっていました

杉林を抜けると　北側谷の向こうにどっしりとした比叡が見える　2013.4.26.

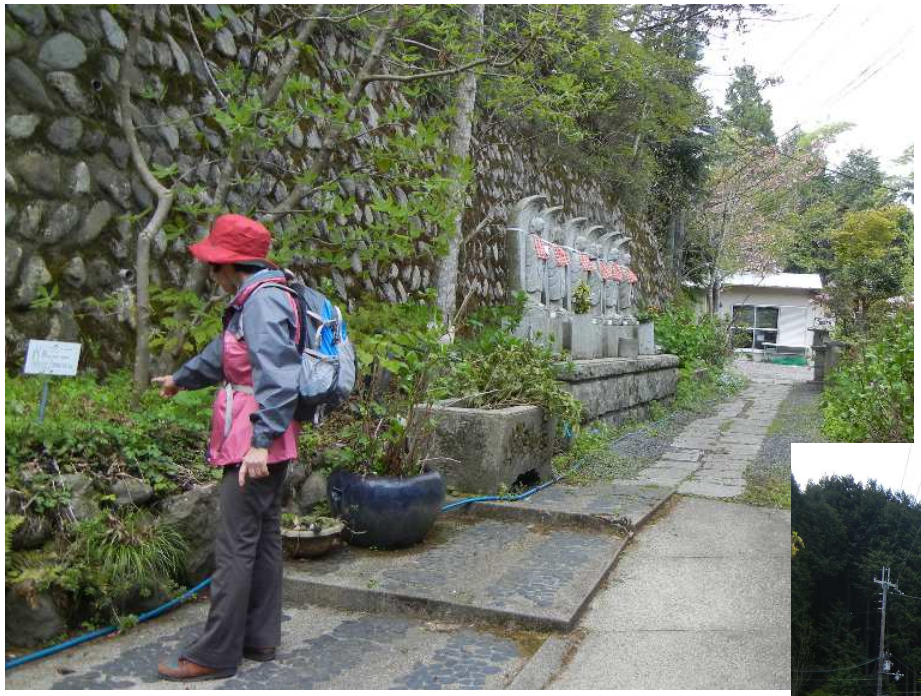
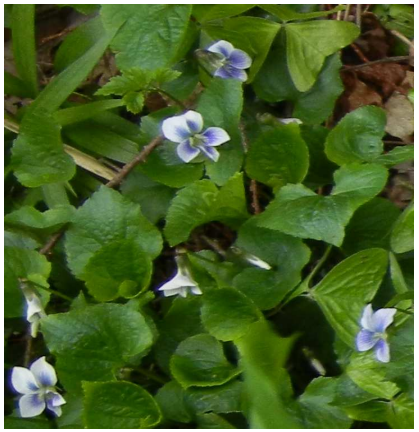
四明岳と大比叡の二つの峰が並ぶ姿にびっくり　これが比叡か‥‥と

屋久杉を見て帰ったところで、杉の年輪が気になる　2013.4.26.

屋久杉の緻密な年輪(<0.5mm)と比べるとはるかに成長が早い

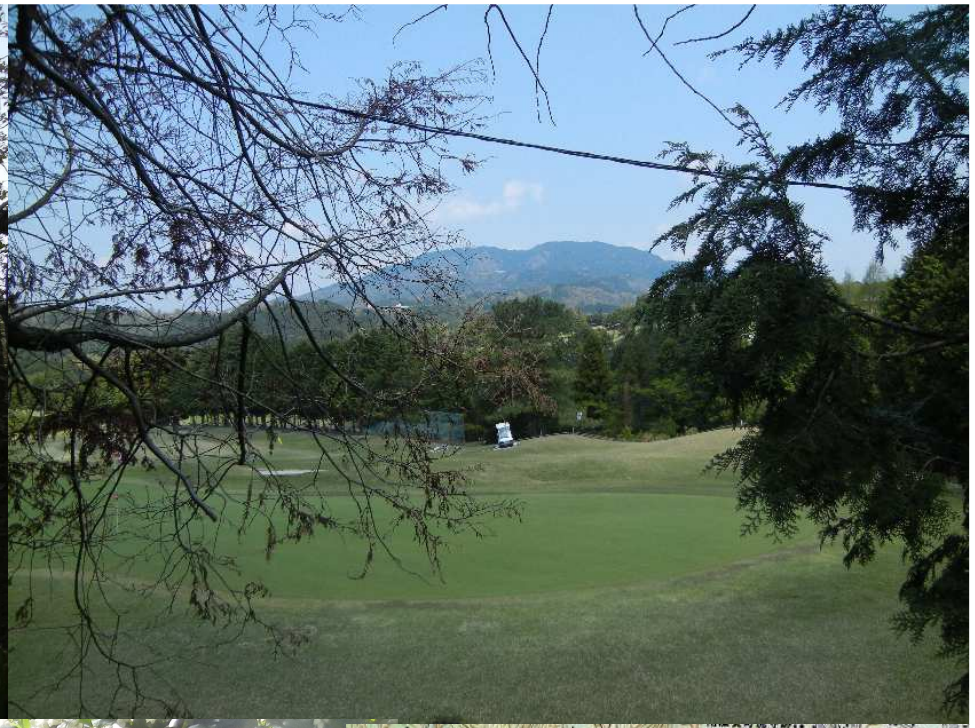


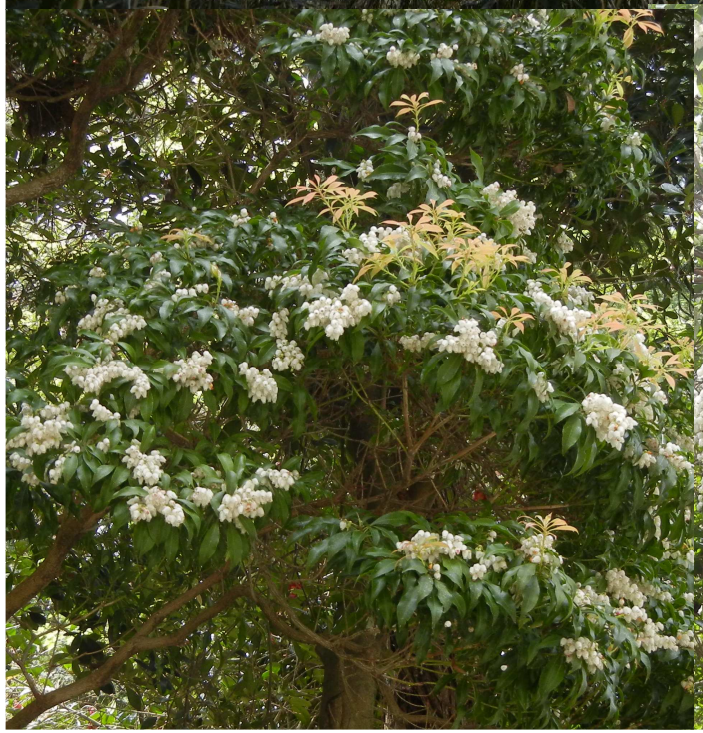
杉林に沿う林道を抜けると池谷地蔵尊の前　いきなりシャクナゲの花が飛び込んでくる

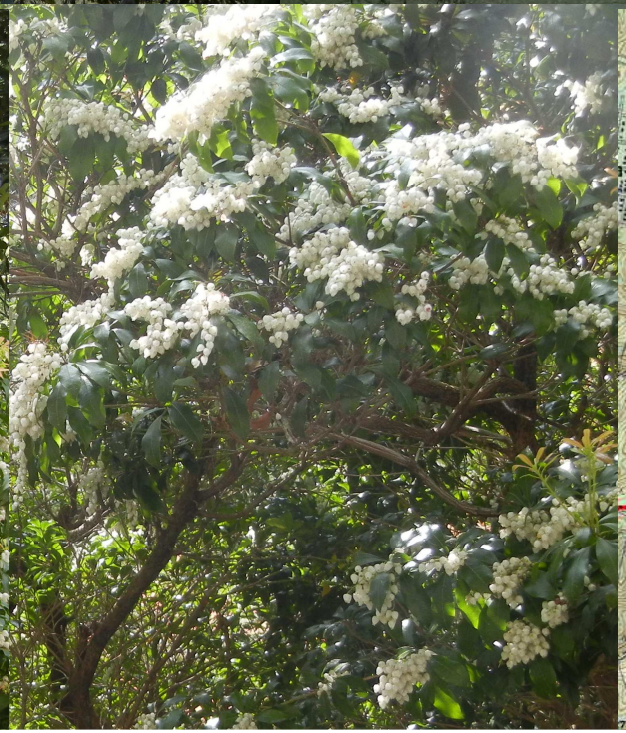



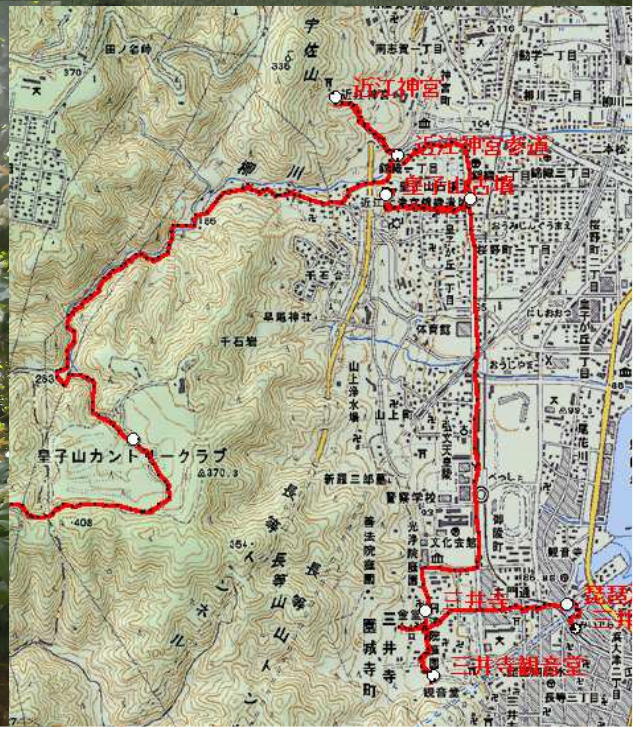
池谷地蔵尊は花の寺　2013.4.26.
数多くの山野草や薬草を育てておられた。
ここは薬草園がある深山なんだと

池谷地蔵尊からは比叡平からの道が伸びていて、比叡平からはバスが乗れるのですが、
時間もまだ十分。 皇子山カントリーのゴルフ場の中を抜け、湖岸まで歩く
この南北に伸びる送電線を越えると滋賀県大津だ

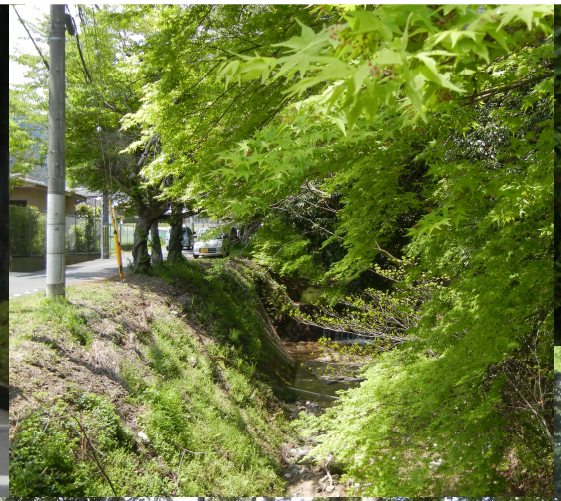


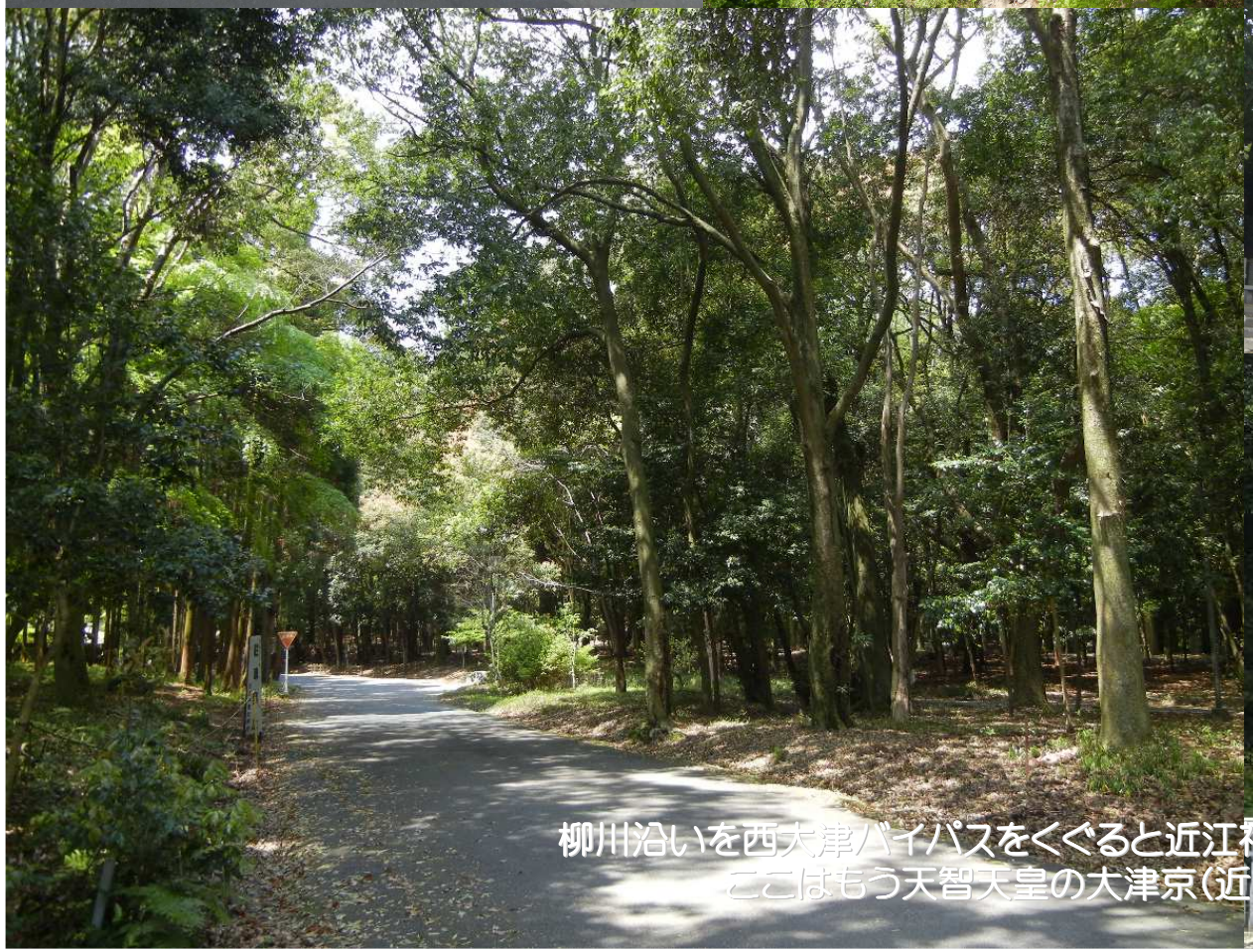





近江神宮
近江神宮参道
皇子山カントリークラブ
三井寺
三井寺観音堂

皇子が丘一丁目
24
Otsu-shi
Ojigaoka
1-chome
24





柳川沿いを西大津バイパスをくぐると近江神宮の前に出る。
ここはもう天智天皇の大津京（近江京）

近江神宮
時計館・宝物館
新しき光

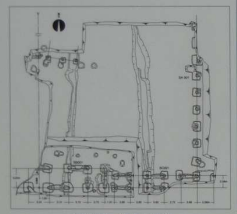
近江神宮

史跡 近江大津宮錦織遺跡

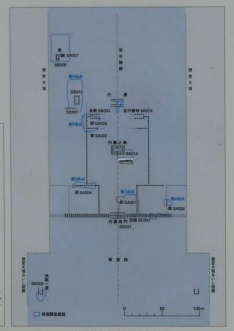
西暦六六七年、天智天皇は新羅・唐の連合軍と対戦した白村江の戦いが敗北に終わった後、突然都を飛鳥から近江に移しました。この近江に営まれた宮が大津宮です。天智天皇は律令制に基づいた天皇を中心とする統一国家を作ろうとしましたが、遷都後わずか五年でこの世を去り、その後に起きた壬申の乱によって大津宮自体も廃墟となってしまいました。わずか五年五カ月の短命の都でした。

大津宮の位置については錦織説、南志賀説、滋賀里説等があり、その位置については容易に明確にすることができませんでしたが、昭和四九年にここ錦織一丁目で行われた発掘調査により、東西南北に整然と並ぶ大型の柱穴が十三基発見されました。この遺構は東西に細長い建物跡と推定され、発見された地層や建物の規模などから、宮に関連するものとしか考えられず、ここが大津宮の有力な候補地として注目されるようになりました。その後、昭和五三年に、この建物跡の続きの部分を発掘調査したところ、さらに東に延びる柱列が発見されたことにより、この部分は、内裏南門と宮の中心を囲う回廊とこれにつながる柵の跡と判断され、この部分が大津宮のまさに中心部分であることが明らかになりました。

ここに、長年追い求め続けられてきた大津宮の位置が確定され、昭和五四年に建物跡の見つかった部分が国の史跡に指定されました。その後に発見された宮関連の建物跡などの遺構がある場所も順次史跡に追加指定されています。



第1地点　遺構平面図



大津宮中枢部復元図

SA001（北から）

SB001（東から）

滋賀県教育委員会

史跡　近江大津宮錦織遺跡第一地点

昭和62年12月25日指定

今、私たちがいる場所は、大津宮の中心である内裏の東南隅にあたります。

右手に見える2列に並ぶ柱は、内裏の入口の門から東にのびる回廊の一部と考えられています。

また、左手に見える1列に並ぶ柱は、回廊から北にのびる塀の一部と考えられています。

ここから北に約80m離れたところから内裏正殿の跡（第2地点）が見つかっていますが、この間からは今のところ大津宮の時代の遺構は見つかっていません。この空間は、儀式などに使われる重要な場所であったと考えられます。

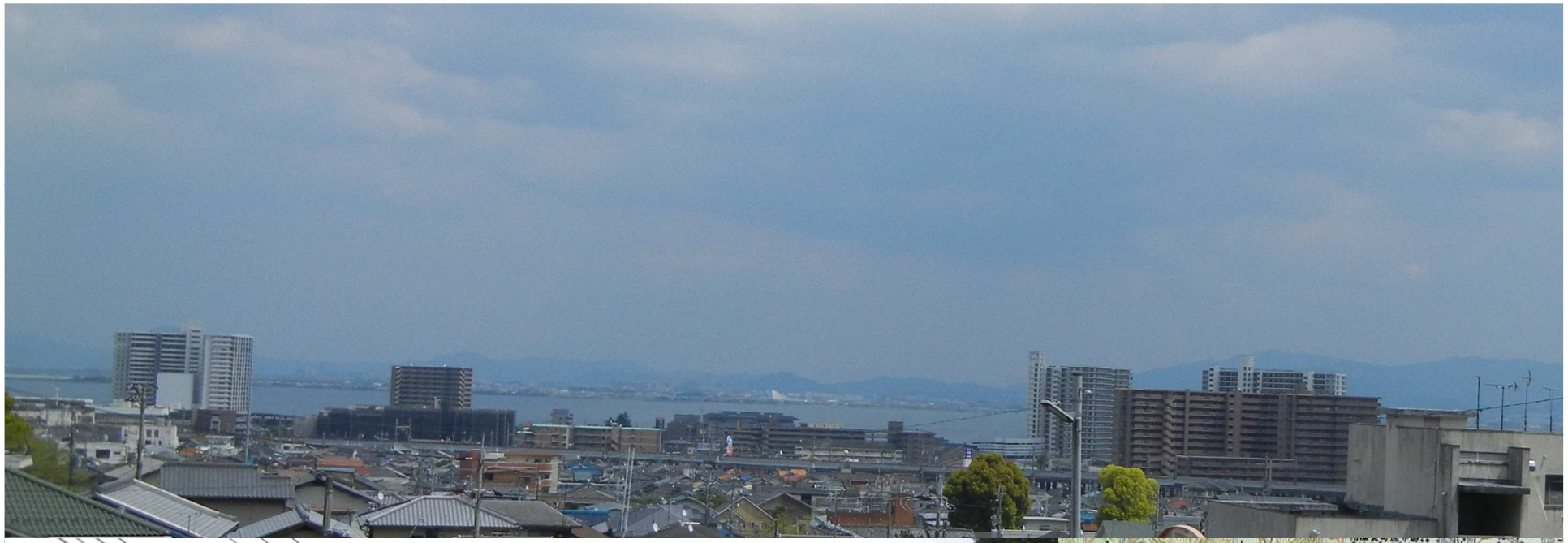
平成10年10月

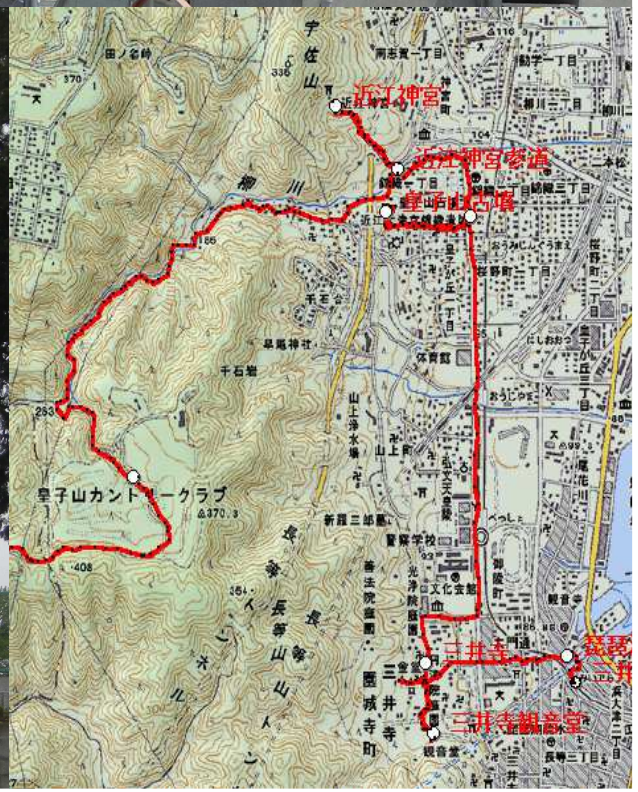
大津宮中枢部復元図

SA001（北から）

SB001（東から）

近江大津宮錦織遺跡　第一地点




近江神宮
近江神宮参道
皇子山古墳
皇子山カントリークラブ
三井寺
三井寺観音堂

皇子山古墳と周辺の遺跡

大津市錦織一丁目

皇子山古墳が造られている錦織・皇子が丘地域は、大津宮が営まれていた地として全国的によく知られています。しかし、この地は、大津宮遷都が行われるかなり以前から、人々が定住し、活発に活動していたことが、いままでの発掘調査で明らかになっています。縄文時代の土器片が錦織や国鉄湖西線西大津駅付近から出土しており、遺構は発見されなかったものの、すでに、縄文時代に人々の活動がはじまっていたことがわかります。

弥生時代から古墳時代にかけて徐々に遺跡が多くなり、古墳時代の初めには近江で最も古いといわれている皇子山一号墳が琵琶湖を見下ろす皇子山の頂上に造られます。これに続いて、六世紀後半から七世紀初めにかけて、山手の丘陵一帯に小さな古墳がいくつも造られるようになります。この付近では、宇佐山の麓一帯に三〇基余りの古墳（宇佐山古墳群・山田古墳群）が知られています。当地域を含めた坂本から皇子が丘にかけての同時代の古墳は大部分が横穴式石室をもち、しかもその他の地域とは異なったドーム状の天井を有したつくりとなっており、それぞれの地域に居住する氏族の違いによるものといわれています。すなわち、ドーム状の天井をもつ横穴式石室は、当地域一帯に居住していた渡来系の氏族（錦織・大友・穴太・三津氏など）が残したものだというのが定説となっています。さらに、この渡来系の氏族たちが、のちの大津宮遷都にあたって大きな力となったことは容易に推測できると思います。いま、大津宮については、発見から一〇年、発掘調査により徐々に建物の配置などが明らかになりつつあります。いまからそう遠くない時期に、大津宮の全貌がはっきりすることでしょう。

このように、当地域は、市内でも早くから開かれた地域のひとつとして、皇子山古墳・大津宮（いずれも国指定史跡）をはじめ貴重な埋蔵文化財が多く残されています。我々は、これらの貴重な文化遺産を大切に守り、永く後世に伝えていかなければなりません。

昭和六十年三月

大津市教育委員会

皇子山古墳群

最終ポイント　三井寺　久しぶりに来ました　2013.4.26.

三井寺から浜大津の街を眺める　2013.4.26.

琵琶湖疎水　2013.4.26.

三井寺駅の東すぐの琵琶湖から取水された水が京都に流れこんでゆく。 京都の生命線。これで　京都の街から大文字山越で琵琶湖までのハイクが無事完了

屋久島縄文杉　トレーニングハイク〔最終回〕

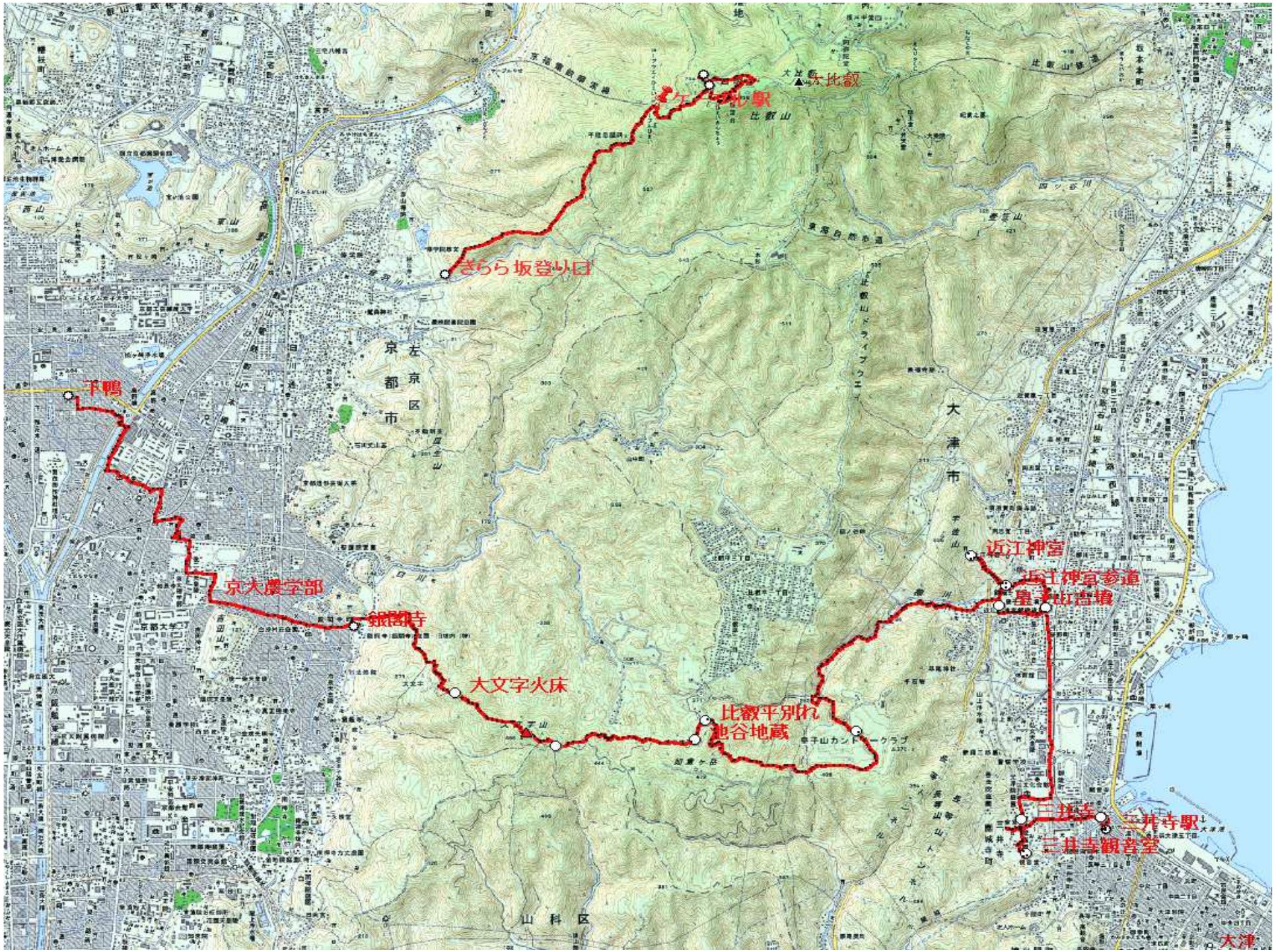
下鴨→銀閣寺から大文字山越→大津・三井寺へ

大文字山越　皇子山カントリー周辺から見る比叡山

下鴨	標高	65m
銀閣寺	標高	102m
大文字山山頂	標高	466m
三井寺駅	標高	89m

total沿面距離　18.6 km　標高差　401 m

●下鴨→銀閣寺	標高差	37m	沿面距離	4.1km
●銀閣寺→大文字山頂	標高差	364m	沿面距離	2.4km
●大文字山頂→三井寺駅	標高差	-377m	沿面距離	12.1km


ケーブル駅
大比叡
比叡山
きらら坂登り口
下鴨
京大農学部
銀閣寺
大文字火床
比叡平別れ
池谷地蔵
近江神宮
近江神宮参道
皇子山登場
三井寺
三井寺駅
三井寺観音堂
大津
京都市
左京区
大津市
山科区

屋久島縄文杉　トレーニングハイク〔最終回〕

下鴨→銀閣寺から大文字山越→大津三井寺へ

長時間の下りロード　2013.4.26.

残雪の京都きらら四明岳ハイクから始めたトレーニングハイク。 確実に足は強くなっていると感じられ、元気に縄文杉も見てこれました。 今回のハイクはそのおまけ。

長いことご無沙汰の大文字山越　こんなに変わったのかと。
考えてみれば、学生時代以来だから、当然といえば当然。

また、思わぬ春景色にもであえて、楽しいハイク　時々またこのコースを歩こうかと・・・

大文字山越でみえる比叡山　左:四明岳　右:大比叡　2013.4.26.

正面　丘の上の住宅地が比叡平